

2024 年 2 月 6 日

発達心理学基礎研究分科会 代表 清水由紀・江尻桂子

2024 年度 日本発達心理学会 発達心理学基礎研究分科会 活動報告書

1. 活動内容

i. 分科会の発足

2024 年 9 月に分科会の設立申請を行い、本会の理事会において承認を受けた。設立に際しては、2005 年より活動してきた「発達心理学基礎研究検討会（通称：土曜研）」の趣旨や活動内容を踏襲するかたちとした。なお、これまでの活動（計 34 回）や、今後の活動予定については、以下のサイトに掲載している。

<https://sites.google.com/view/doyouken/home>

ii. 2025 年度の活動計画の立案

第 36 回大会（2025 年 3 月@明星大学）において、以下の関連団体ラウンドテーブルを計画し、準備を進めている。

- ・ タイトル：「発達心理学における基礎研究の意義を考える
（1）今、なぜ基礎研究が必要か、そして社会教育的実践にどうつなげるか」
- ・ 企 画 : 日本発達心理学会発達心理学基礎研究分科会
- ・ 企画・ファシリテーター： 江尻 桂子（茨城キリスト教大学文学部）
- ・ 企画・ファシリテーター： 清水 由紀（早稲田大学文学学術院）
- ・ 話題提供 : 萩原 広道（大阪大学大学院人間科学研究科）
発表タイトル「発達の基礎研究：断絶の上で試みる実践との接続」
- ・ 話題提供 : 森口 佑介（京都大学大学院文学研究科）
発表タイトル「子どもの主観的経験とその構造」
- ・ 指定討論 : 内田 伸子（IPU・環太平洋大学／お茶の水女子大学）

iii. メーリングリスト（ML）での情報共有

分科会 ML にて、分科会の設立趣旨や規約、今後の活動計画について、情報共有を行った。

以上